



新学科長 前田美樹先生にインタビュー！！

【自己紹介】

前田美樹です。2003年から青森中央短期大学に勤務しているので、今年で20年目です。主に音楽に関する授業を担当しています。毎日弘前市から勤務しています。冬は大変ですが…。

Q 授業で特に力をいれていることはなんですか？

A ピアノの授業では、保育現場で使用する子どもの歌を楽しみながら、ピアノ奏法に必要な基礎力を習得できるような工夫をしています。子どもの歌は文学的にも音楽的にもとても優れた教材ですから、作品に興味を持ってほしいです。
また、ミュージカルなどの創作活動でも、児童文学作品を掘り起こしていく過程から作品の芸術性に気づいてもらえたらと願っています。

Q 大学の授業以外の活動は何かしていますか？

A フランスの作曲家クロード・ドビュッシーの研究をしています。数年かけてピアノソロ作品全曲演奏会などもしてきました。クラシック以外ではタンゴ音楽も好きなので、バンドネオンという楽器をたまに弾いて遊んでいます。
最近、寝具やさんの「眠りの森 みぞぐち」のCMのお話を頂いたのですが、なにげなくTVをみている時に、自分がアレンジして演奏した曲が流れてきて面白かったです。

Q 保育士としてのピア/技術で必要なことはなんですか？

A 心の中でもよいので、歌を楽しみながら弾けるようになることでしょうか。歌を感じながら弾けると、音楽が生き生きとしてきます。歌心があれば、右手のメロディーだけでも、あるいは左のコード伴奏だけでも、子どもたちと音楽を楽しめるようになります。
また、ピアノという楽器の魅力を知るために、自分が出す音に耳を傾けてほしいですね。

Q 高校生にメッセージをお願いします。

A 保育者は子どもの成長を見守り支援していくすばらしい職業です。保育者を目指す若者がもっともっと増えてくれることを願っています。
本学には子どもたちと実際に触れ合う機会がたくさん用意されています。その中で保育者としての問いや疑問をもって学び合えたら素敵ですね。

